

令和 6 年度 歯学部過年度卒業生へのアンケート調査結果について

1. 趣旨

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、卒後 5 年、10 年の学生（看護学部除く）を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 歯学部卒業生

第 45 期生【平成 27 年 3 月卒業】 47 名（卒後 10 年目）

第 50 期生【令和 2 年 3 月卒業】 35 名（卒後 5 年目）

調査期間 令和 6 年 8～9 月

実施方法 インターネット（Google Form）を利用した Web アンケート

質問内容 ①氏名、性別、年齢、お住まいの地方、卒業年度（〇期生）

② 現在の状況、勤労状況、勤務形態

③ 学位授与方針に対する卒業時の自己評価

④ 岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度

⑤ 岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度

⑥ 岩手医科大学への満足度

⑦ その他

3. 結果

【回収率】

歯学部 第 45 期生 16.7%（6/36 人（47 人）） 第 50 期生 23.3%（7/30 人（35 人））

詳細は別紙の通り。

4. 総括

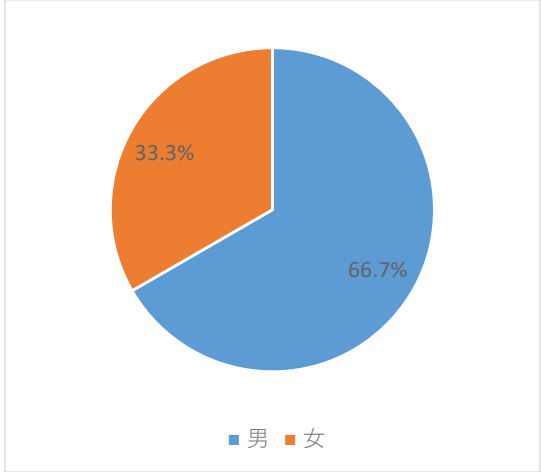
・設問 1 現在の状況について、大半が臨床歯科医として勤務しており、勤務先は大学病院や医療法人の他、個人病院となっている。

・設問 4 学修成果について、特に「プロフェッショナリズム」「地域保健・医療」「高水準の診療能力」の項目で自己評価の差が大きく、45 期生の方が高評価となっている。

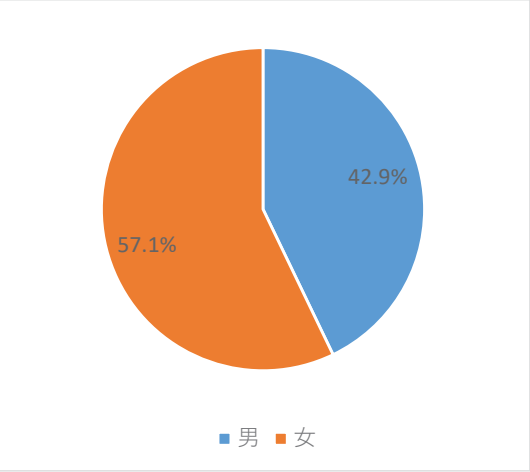
・設問 5 カリキュラムへの満足度について、45 期生、50 期生のいずれも「満足している」「ある程度満足している」が合計で 80%を超えており、満足度は高い。同じく設問 6 地域医療への貢献度に対する評価、設問 7 大学への満足度は全体的には良好で、本学の使命が実行されていることが伺える。

歯学部

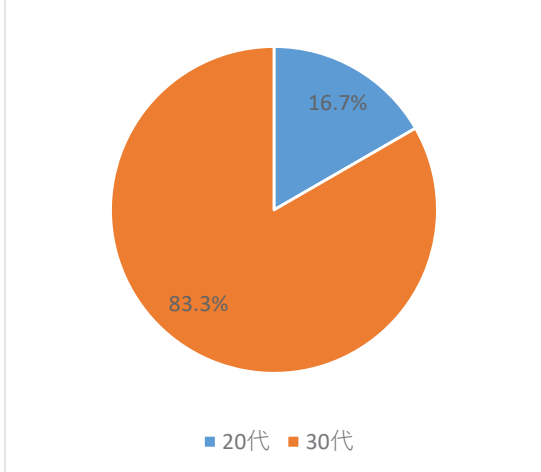
性別
45期生



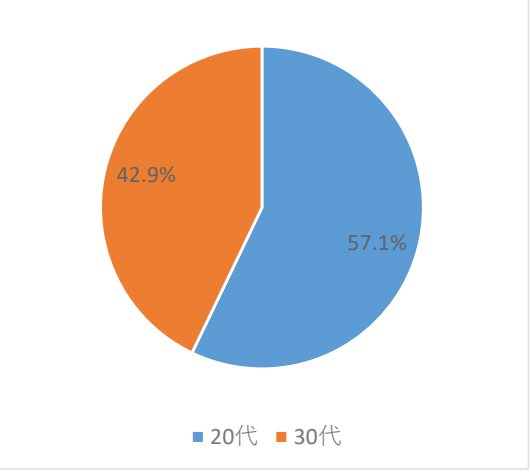
50期生



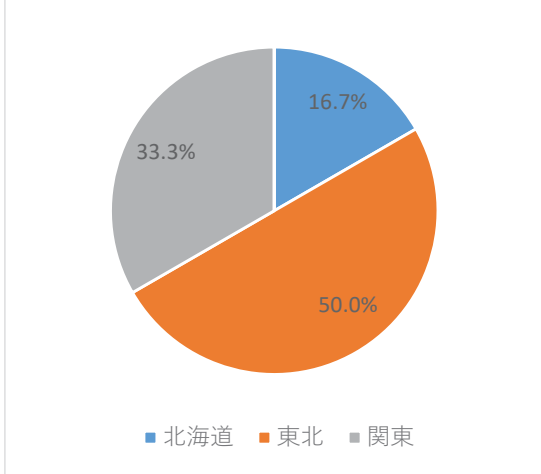
年齢
45期生



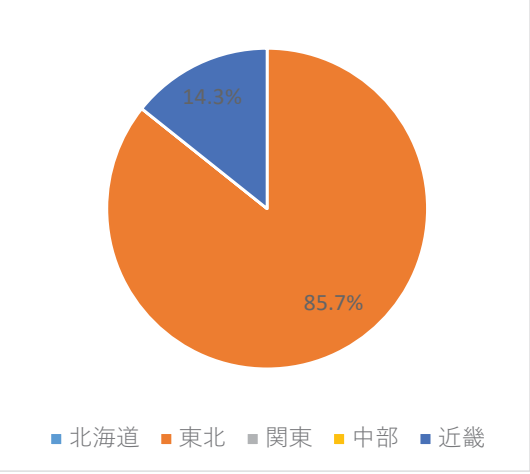
50期生



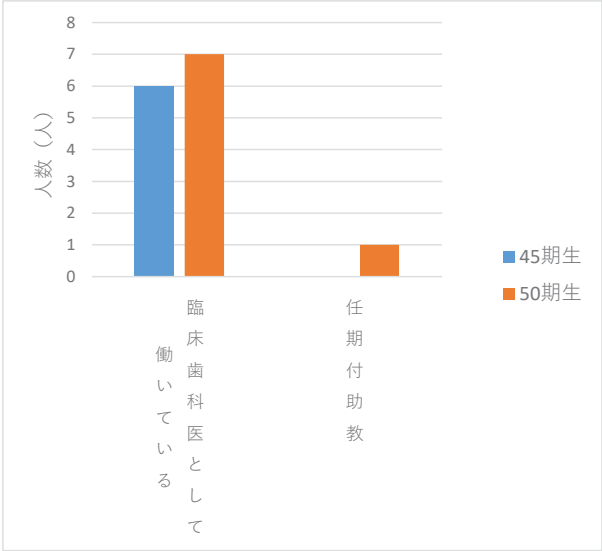
住まい
45期生



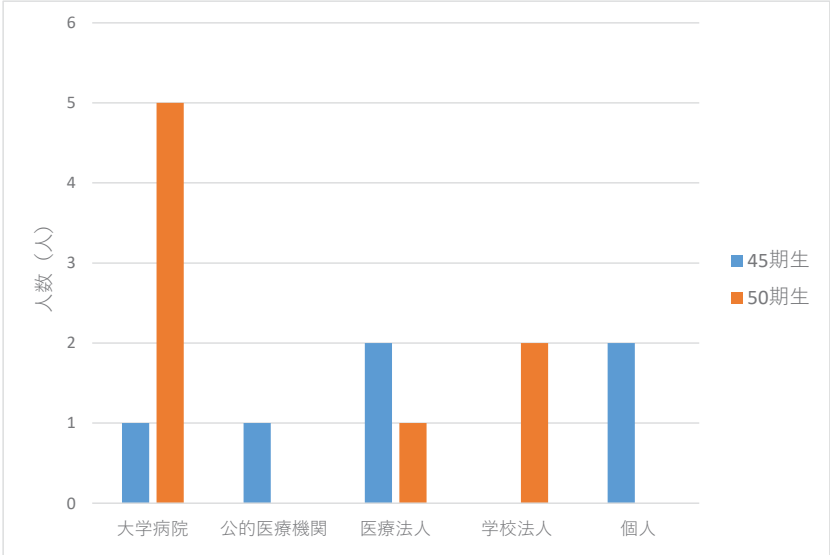
50期生



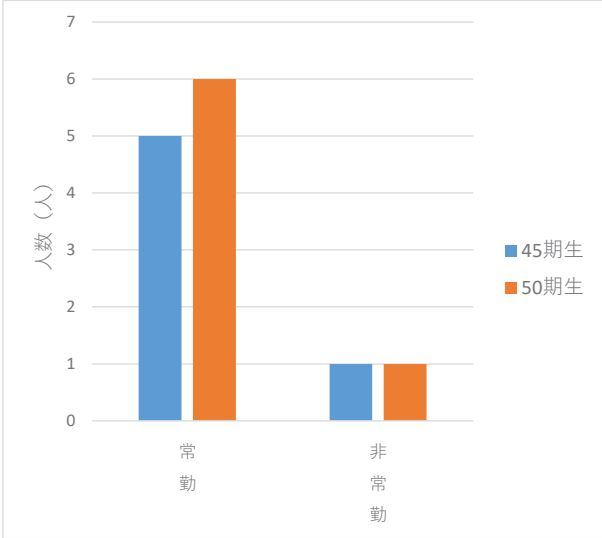
設問1 現在の状況



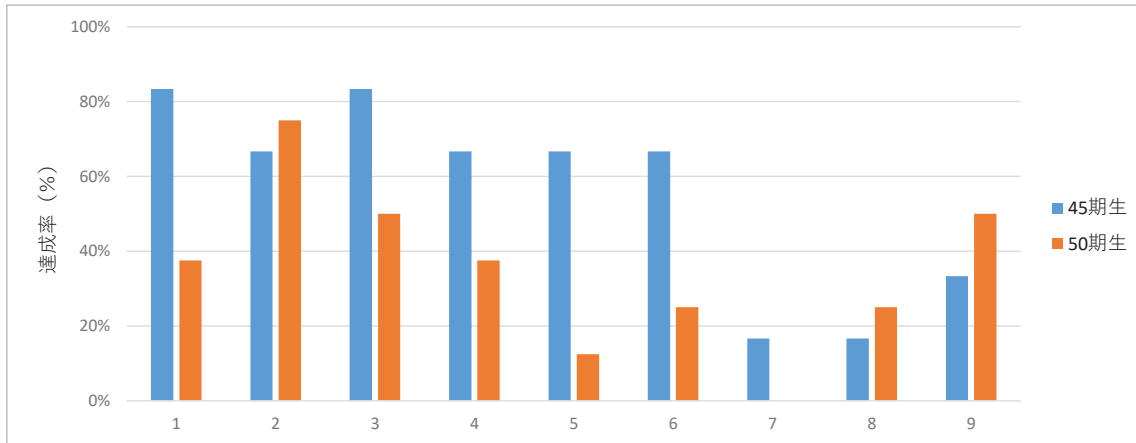
設問2 勤務状況



設問3 勤務形態



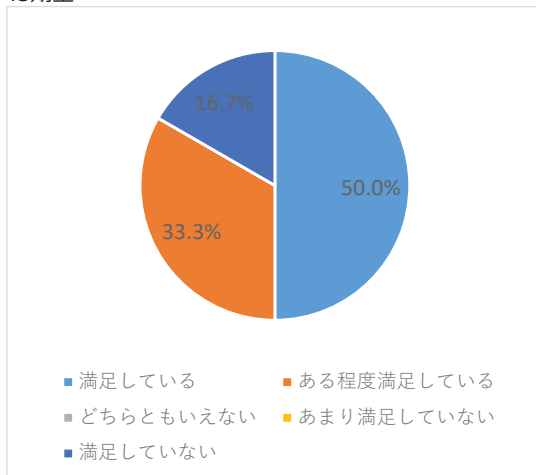
設問4 学修成果の達成について



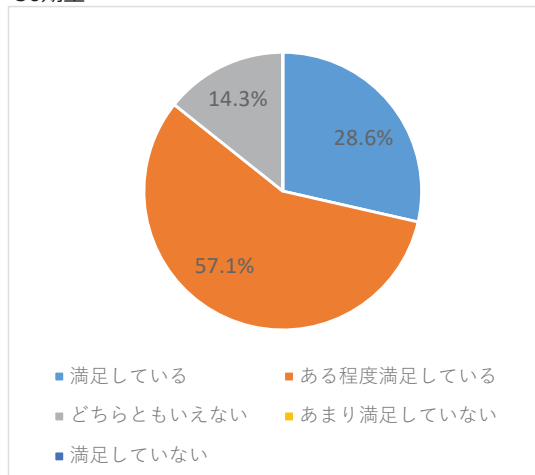
1. 歯科医師として患者や地域住民の健康と生命を守るという責務を理解し、高度な専門性と豊かな人間性と倫理観を有すること。(プロフェSSIONナリズム)
2. 患者・家族に歯科医療の内容をわかりやすく伝え、彼らの気持ちに配慮しながら良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を備えること。(コミュニケーション能力)
3. 医療チームの一員として、相手の立場を尊重しお互いの協力のもとに医療を円滑に実践すること。(チーム医療の実践能力)
4. 科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践すること。(包括的歯科医療の実践能力)
5. 地域の保健、医療、福祉、介護の現状や問題点を把握して、地域医療の向上に取組む態度・技能が備わっていること。(地域保健・医療の実践能力)
6. 歯科医師として求められる基本的診療技術を高い水準で修得していること。(高水準の診療能力)
7. 国際的な保健・医療活動に参加するための態度と基本的な語学能力を有すること。(国際貢献への資質)
8. 歯科医学や医療の発展に寄与する研究を遂行するために必要な知識と技能を有すること。(研究マインドの保持)
9. 生涯にわたり歯科医療に対する自己研鑽を続ける態度が備わっていること。(生涯学習の実践)

設問5 カリキュラム満足度

45期生

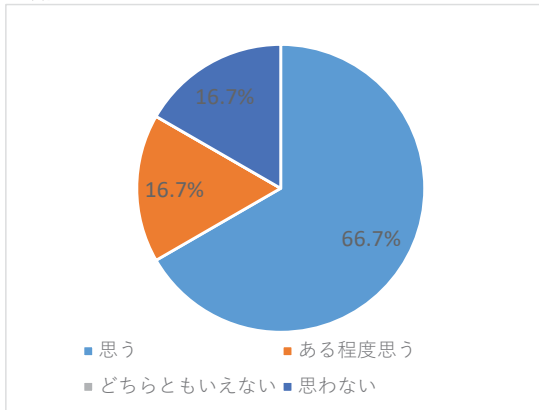


50期生

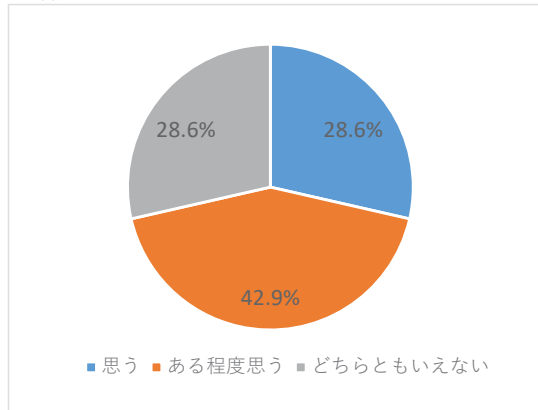


設問6 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。

45期生

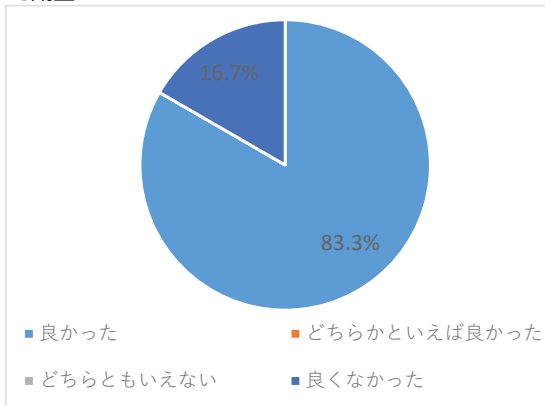


50期生



設問7 岩手医科大学を卒業して良かったですか。

45期生



50期生

